

(別紙)

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）第26条第1項に基づく農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

令和4年3月31日

伊那市長 白鳥 孝

記

1. 協議した場を設けた区域の範囲

富県新山地区

2. 協議の結果を取りまとめた年月日

令和4年3月31日

3. 当該地区における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

○経営体数

| | |
|------------|-------|
| 法人 | 1 経営体 |
| 個人 | 7 経営体 |
| 集落営農（任意組織） | 一組織 |

4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか

地域を網羅する農事組合法人と認定農業者等で対応できている。

5. 農地中間管理機構の活用方針

法人の組織体制整備を図り法人機能を最大限活用していく。

個別対応で実施する。

6. 地域農業の将来のあり方

富県地区農業振興センターを基軸とし、①山間傾斜地に耕地が点在し条件が良くないが、1品目多量生産でなく米作を基幹に複合経営に取り組む。②法人経営を軌道に乗せ、農産物を加工して付加価値を高めて販売していく。③農地中間管理機構等を活用して地域内農地の出し手応募者と受け手の結びつきを強化していく。